



5月のほけんだより



全園児歯科検診

5月23日（木）9：30頃～
園医の渡辺先生（渡辺歯科）が行います。
できるだけ、お休みしないで検診を受けて
ください。お休みされた場合は、後日、保護者の方で渡辺歯科に受診して頂きます
ので、ご了承ください。

※ お子さんの歯で質問のある方は、後日用紙を配布しますのでご記入ください。

4月の健康状況



胃腸炎・・・7名

水痘・・・3名

インフルエンザ B型・・・1名

アデノウイルス感染症・・・2名

発熱・・・13名

風邪・・・2名

結膜炎・・・1名

4/19

春の風が心地よく、さわやかな気分
になれる5月。しかし、体や心に疲れ
が出て、けがをしたり、体調を崩したりしやすい時期でもあります。
規則正しい生活をして、元気いっぱいに過ごせるようにしましょう。



～子どもの歯や虫歯にまつわる情報～



歯が白濁してたら虫歯の一歩手前！

歯の一部が、透明感がなく白濁してたら要注意！虫歯になりかけている場合もあるので、ていねいに磨きましょう。白濁は、よく見ないとわからないので、明るい場所で磨きながらチェックしてください。



歯磨きをしても虫歯になるのはなぜ！？

虫歯は歯磨きだけで防げるものではありません。食生活やフッ素を取り入れているかどうかなどでも虫歯のなりやすさが変わってきます。また、唾液の量や歯の質にも個人差があります。歯磨きを含めた生活全体を通して、虫歯を防ぐようにていきましょう。



「砂糖を食べると虫歯になる」はウソ！？

砂糖=虫歯というイメージがありますが、砂糖をたくさん食べても食事習慣や歯磨きが正しくできていれば虫歯にはなりません。逆に砂糖の量を少なくしても、食事習慣が悪かったり歯磨きのしかたが間違っていれば、虫歯はできるのです。

ベネッセ教育情報サイトより引用

<https://benesse.jp/contents/feature/110601.shtml>

アロマ虫除けスプレー



園庭や公園に虫が多く発生する時期になりました。市販の虫除けスプレーは子どもにとって匂いが強かったり、皮膚刺激が強い事があります。園では、アロマ虫除けスプレーを使用しています。

使用するものは一般に販売されているものではなく、園で配合したものです。皮膚刺激の強い成分は使用していませんが、アレルギーなど気になる方及び、使用を控えてほしい方は担任または看護師にお伝えください。配合成分は下記のとおりです。

<成分>

- ラベンダー、ローズウッド、ユーカリシトリオドラ、エタノール、精製水
- ユーカリシトリオドラ・・・シトロネラールという、テルペン系アルデヒド類が主成分で、昆虫忌避成分が含まれています

※ <http://www.t-tree.net/essentialoil/euccitriodora.htm>

虫さされ・とびひについて



これから、蚊等の虫が増える季節です。
例年5月から秋口まで、蚊などによる虫さされが多く見られます。虫刺され後の搔きこわしから「とびひ」になるお子さんも少なくありません。
● 肌が弱く、すぐに腫れたり、赤くなるお子さんは早めに皮膚科・小児科を受診されることをおすすめします。

● 「とびひ」（=伝染性膿瘍疹）とは…
あせもや、虫刺され、湿疹などを引っ掻いた箇所に起こる、細菌による皮膚の感染症です。ちょっとした傷から、火事の飛び火のようにあっという間に広がることから“とびひ”といわれています。溶連菌・黄色ブドウ球菌が原因による、接触感染で、学校感染症の一つです。

傷が広範囲であったり、ガーゼで覆えない場合は登園できません。

→プールや水遊びの参加ができません。早めに皮膚科を受診して治療しましょう。

爪はきれいかな？



子どもたちは様々な物に触れるため、爪（つめ）の中に汚れが入ったり、伸びていると欠けたりしてしまいます。汚れが溜まると炎症を起こし、爪の病気になってしまふので、手洗いで落としきれない汚れは、お風呂できれいに落としてあげましょう。

また、爪が長いとどこかにひっかけてしまったり、お友達を傷付けてしまうことにもなりかねません。おうちでは定期的に切ってくださいとお願いいたします。

爪の伸びている子や、剥がれかかっている子が多く見受けられます。子どもたちからも保護者に伸びたら伝えるようにお話しています。足の爪も合わせてこまめに確認をしてください。